

大上 充子 選

特選

そらまめはわたのふとんでならんでた

府中町立府中央小学校二年 岸本 大輝

【評】そらまめのさやをむいたときのかんどうと、しつかりものをかんさつしているようすがよくでています。

別れ告ぐ古い校舎と散る桜

福山市立誠之中学校三年 山内 稟花

【評】卒業していくちよつと淋しい感情と古い学び舎に感謝している気持ちを上手に表わしている。季語が効いている。

祖母の手を引く側となり初詣

呉市立郷原中学校三年 山本 晴輝

【評】幼い頃は祖母に手を引かれての初詣。今は反対に祖母を守ってあげようという作者のやさしさが出ている作品。

初桜新たな扉切り開く

福山市立幸千中学校三年 高橋 慶志

【評】 ようやく咲き出した桜。作者に嬉しさと新しい希望が湧いて来た。中七の具象が意志の強さを表わしている。

風光る少しつづれた目玉焼き

県立尾道北高等学校一年 北口 美結

【評】 冬が過ぎて暖かくなる頃のきらきら輝く風。つづれた目玉焼きも何となく楽しく笑えるのも春の訪れを喜ぶ心の表れ。

入 選

七夕のささのきり口いい香り

庄原市立総領小学校五年 平山 暖人

ねる前のすず虫の声子守歌

廿日市市立佐方小学校五年 内田 瑛良

にじが出て暗い気分も晴れ晴れと

廿日市市立佐方小学校五年 車 昌悟

笑い声セミに負けない三姉弟

福山暁の星小学校五年 奥野 瑚子

こいのぼり風を仲間に行っているよ

大竹市立大竹小学校六年 佐々木陽真

ふうりんんで風で作ろう音作ろ

坂町立横浜小学校三年 池田 風

ヒマワリは太陽の仮身真黄色

坂町立横浜小学校六年 宮崎 寛大

亡き祖父がまぶたに浮かぶところてん

庄原市立庄原中学校三年 近藤 美緒

せみの声色褪せていく時間かな

福山市立幸千中学校三年 竹縄 一煌

うたた寝の耳にコオロギ聞こえる

三次市立八次中学校三年 小野美紗貴

ベランダに一人ポツンと星涼し

福山市立幸千中学校三年 祝 歩花

わたあめと雲を重ねた夏の果

広島国際学院中学校三年 村上 絢音

イーゼルの冷えた教室筆にぎる

県立広島皆実高等学校一年 前田 美悠

膝の上香箱座りかじけ猫

県立尾道北高等学校一年 竹丸 未菜

袴着て暑さと戦い弓を引く

呉市立呉高等学校三年 松井 遥菜

夏が来る愛犬の毛が刈られてく

呉市立呉高等学校二年 江川 瑠那

的見つめ一射集中セミの声

呉市立呉高等学校二年 酒井 莉子

流星願いを言えず次を待つ

呉市立呉高等学校二年 中井 彩葉

部活動汗の分だけ強くなる

県立三原高等学校一年 加村 太獅

陽炎の立つグラウンドに我立ちぬ

県立三原高等学校二年 山本 大聖